基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	図書館運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●	●	
事業対象	町民、近隣住民	目的	図書館の運営及び各種事業の展開を図る。				
事業概要	図書、視聴覚資料の貸出や資料の紹介、おはなし会等の行事など、教養、調査、研究、レクリエーションに資する活動を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	03	大事業	図書館運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	10,819	10,529	10,010			
	概算人件費	21,160	22,868	22,868			
	トータルコスト	31,979	33,397	32,878	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	69	55	71	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	1.12 人		5,699 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	10.75 人		17,169 千円			
	その他	人		千円			
	合計			22,868 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間貸出者数(人)	計画値	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
		実績値	80,121	79,151	78,751		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・貸出サービスの他、子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努め、新たに「放課後子ども教室」と連携した取り組みを行った。
	課題	・利用状況が減少傾向にあるため、既存の利用者だけでなく新規利用者獲得のため、幅広い年齢層に対し、図書館利用を促進する取り組みを進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・利便性を図るため、特別館内整理休館期間（蔵書点検）について見直し、開館日数を2日増とした。 ・「ちいちゃいおはなし会」を土曜日に試行開催することで、平日に参加が難しい世帯の参加を促したほか、幅広い世代を対象とした新規の講座・イベントを行い、図書館へ来館するきっかけ作りを行った。 また、町Facebookへの定期的な投稿や、町公式LINEアカウントを使った情報発信に取り組んだ。
	課題	・子どもや子育て世代の利用促進を図るとともに、今後リニューアルを予定する中で、保健センターとの連携をはじめ、運営面について検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	生涯学習センター管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、町外住民	目的	生涯学習センター施設の維持管理及び運営を行う。				
事業概要	ホールや貸室の提供などを行い、生涯学習振興と生涯学習支援を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	生涯学習センター管理運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	70,272	73,361	115,004		
		概算人件費	1,061	1,262	1,262		
		トータルコスト	71,333	74,623	116,266	0	0
		国庫/県支出金	0	0	8,525	0	0
		その他	18,037	18,063	24,640	0	0
R6 概算人件費		正規職員	0.29 人		1,262 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			1,262 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9	
①	ラディアンの稼働率【戦略】 (%)	計画値	44.4	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
		実績値		45.5	45.5			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・モールにソファを設置するなど、利用者の居場所づくりを行うとともに、大規模改修に係る基本設計を実施した。
	課題	・開館より20年以上が経過し、老朽化による不具合が出ていることから、大規模改修まで適切な維持管理を行うとともに、閉館期間の事前周知について時期や方法についても検討していく。
今年度	成果（実績）	・引き続き利用者の居場所づくりを行うとともに、令和7年度に行う大規模改修実施設計に向け、リニューアルの検討などを行った。また、利用者が心配する大規模改修工事に伴う休館期間について2月に大枠(R9.1月からR10.12月)を決定し、ラディアン窓口やホームページにおいて、事前周知を開始した。
	課題	・開館より20年以上が経過し、老朽化による不具合が出ていることから、大規模改修まで適切な維持管理を行う。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	ふたみ記念館管理運営経費				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の文化振興の場として、ふたみ記念館を効果的に活用するための管理運営を行う。				
事業概要	観覧受付、館の維持管理、展示スペースの貸出業務等を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	ふたみ記念館管理運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	2,232	2,391	2,656			
	概算人件費	974	870	870			
	トータルコスト	3,206	3,261	3,526	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	85	77	174	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.21 人		870 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			870 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間来館者数（人）	計画値	468	480	480	480	480
		実績値		369	346		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・令和5年10月22日まで「利節と花」を、展示替えを行い10月28日から常設展「利節の描いた女性たち」を開催した。
	課題	・来館者数が伸びていないため、広報の方法や常設展の展示期間等について検討をする必要がある。
今年度	成果（実績）	・来場促進を図るため、展示期間を前期と後期とに分け、展示作品を一部入れ替えることで、一度見た方も再度来館していただけるよう展示替えを行った。令和6年10月20日まで「利節の描いた女性たち」、展示替え後の10月26日から常設展「静物×麦たち」を開催。また、YouTubeにより展示概要の動画を掲載し、周知を図った。
	課題	・来館者増につながるよう、引き続き広報の方法等について検討をする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	テニスコート施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進・健康維持及び体育の振興を図る。				
事業概要	テニスコート施設を整備し、管理運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	テニスコート施設管理運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	801	1,755	190			
	概算人件費	817	987	987			
	トータルコスト	1,618	2,742	1,177	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	819	797	806	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.24 人		987 千円			
	再任用職員			千円			
	会計年度任用職員			千円			
	その他			千円			
	合計			987 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間利用者数（人）	計画値	14,300	14,300	14,300	14,300	14,300
		実績値	14,269	13,542	12,361		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・休日を中心として高い稼働率で利用されており、施設に職員を配置しない運営とすることで、コストを抑えて運営することができた。
	課題	・軽微な修繕を継続しながら運営をしている。大規模改修を含め、テニスコートのあり方について検討をしていく必要がある。
今年度	成果（実績）	・休日を中心として高い稼働率で利用されており、施設に職員を配置しない運営とすることで、コストを抑えて運営することができた。また、例年行う草刈委託について、防草シートを敷設することで長期的なコストを抑制することができた。
	課題	・例年、会計年度任用職員を中心として、ひび割れ等の軽微な修繕を行いながら運営をしている。今後、大規模改修を含め、テニスコートのあり方について検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	武道館施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る。				
事業概要	武道館施設の整備を行い、管理運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	武道館施設管理運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	776	975	1,259			
	概算人件費	1,008	953	953			
	トータルコスト	1,784	1,928	2,212	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	1,357	1,328	1,345	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.23 人		953 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			953 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間利用者数（人）	計画値	17,656	17,700	17,700	17,700	17,700
		実績値		17,703	16,694		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・平日・休日に関わらず、高い稼働率で利用されている。利用団体が日常管理をすることで、職員を配置しない運営としており、コストを抑えることができています。
	課題	・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）では、駅前複合施設へ機能移転することとなっているため、それまでは適切な維持管理をするとともに、徐々に、団体の活動場所を町立体育館等へ誘導するなど、機能移転の際に大きな混乱を生じさせないよう、努める必要がある。
今年度	成果（実績）	・平日・休日に関わらず、高い稼働率で利用されている。利用団体が日常管理をすることで、職員を配置しない運営としており、コストを抑えることができています。
	課題	・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）では、駅前複合施設へ機能移転することとなっているため、それまでは適切な維持管理をするとともに、徐々に、団体の活動場所を他施設へ誘導するなど、機能移転の際に大きな混乱を生じさせないよう、努める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・充充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	町立体育館施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る。				
事業概要	町立体育館施設を整備し、管理運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	町立体育館施設管理運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	4,794	3,455	5,968			
	概算人件費	7,351	8,890	8,890			
	トータルコスト	12,145	12,345	14,858	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	5,499	5,590	5,515	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.27 人		1,118 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	4 人		7,772 千円			
	その他	人		千円			
	合計			8,890 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間利用者数（人）	計画値	55,000	60,000	60,000	60,000	60,000
		実績値	54,979	58,544	54,429		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・平日・休日ともに高い稼働率で利用されている。
	課題	・空いている予約枠の有効活用や施設の修繕の実施時期を精査しながら運営をしていく必要がある。
今年度	成果（実績）	・平日・休日ともに高い稼働率で利用されている。
	課題	・空いている予約枠の有効活用や施設の修繕の実施時期を精査しながら運営をしていく必要がある。 ・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）では、令和8・9年度に実施設計及び改修工事をするとしているため、利用団体の活動に配慮しながら進める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	町民運動場施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育の振興を図る。				
事業概要	町民運動場の管理運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	町民運動場施設管理運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	8,871	8,125	8,349			
	概算人件費	7,273	7,162	7,162			
	トータルコスト	16,144	15,287	15,511	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	1,902	1,952	1,896	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.27 人		1,118 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	4 人		6,044 千円			
	その他	人		千円			
	合計			7,162 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間利用者数（人）	計画値	39,729	39,800	44,000	44,000	44,000
		実績値		43,411	38,858		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・予約のキャンセルに対する対策を行い、適切な予約運用ができるようになり、利用したい団体が利用できるようになった。
	課題	・大規模改修の内容について、検討を進める。
今年度	成果（実績）	・予約キャンセルへの対策を行なったことにより、適切な運用ができている。
	課題	・大規模改修の内容について、検討を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	山西プール施設管理運営事業			所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る。			
事業概要	7月から8月にかけて山西プール施設を開設し、管理運営を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	05	02	大事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費
		直接事業費	11,756	14,053	20,035	
		概算人件費	1,064	1,118	1,118	
		トータルコスト	12,820	15,171	21,153	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0
		その他	843	814	725	0
R6 概算人件費		正規職員	0.27 人		1,118 千円	
		再任用職員	人		千円	
		会計年度任用職員	人		千円	
		その他	人		千円	
		合計			1,118 千円	

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間利用者数（人）	計画値	5,469	5,500	5,800	5,800	5,800
		実績値		7,312	8,301		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・天候が安定し、また気温の高い日が続いたことにより、昨年度より大幅に利用者が増加した。
	課題	・町民温水プールの廃止に伴い、町内で稼働している唯一のプールで、学校の水泳授業にも利用されている。施設の老朽化が著しく、また、長寿命化に向けた大規模改修等の時期や気候変動対策などの内容を検討していく。
今年度	成果（実績）	・学校プールの授業日数確保のため、開設期間を9月中旬まで試行延長したこと(台風の影響により実質開設期間は1週間)、また、猛暑日が続いたことで、利用者が増加した。
	課題	・町内で稼働している唯一のプールで、学校の水泳授業にも利用されている。施設の老朽化が著しいため、大規模改修に伴う設計を令和7・8年度の2カ年で実施し、施設の長寿命化や気候変動対策等を盛り込んだ改修内容としていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見	利用者数は増加しており、今回の大規模改修は長寿命化に加え、より使いやすい施設とするためのもので、これまでもプールの運営は適当に実施されていたことから方向性を変更する。		
	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	町民温水プール施設管理運営事業			所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る。			
事業概要	温水プールの施設を整備し、管理運営を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	町民温水プール施設管理運営事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	19,789	971	0			
	概算人件費	1,982	952	0			
	トータルコスト	21,771	1,923	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.23 人		952 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			952 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間利用者数（人）	計画値	32,808	-	-	-	-
		実績値	0	-	-	-	-
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	<p>・町民温水プールは、設備等の老朽化が著しく、設備更新や修繕費用に約6億～7億円が必要と見込まれ、二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（令和5年3月改定追補版）では、令和7年度までに廃止又は他用途への転用と位置づけられていた。そうした中、天井崩落の原因究明や対策を検討したところ、入館者の安全を確保するためには、大規模な修繕を要することがわかり、廃止の方向性が位置づけられている施設への予算措置は得策でないと判断した。9月議会で早期に施設を廃止する条例案が可決され、令和6年3月31日をもって廃止となった。</p> <p>その後、高圧電力から低圧電力に切り替える工事を実施するなど、できるだけランニングコストを縮減するとともに、使用可能な備品などについては他施設等に移管した。</p>
	課題	・建物の維持管理に関わる経費の縮減、施設跡地の利用方法、臨時駐車場借地のあり方について、検討を進める。
今年度	成果（実績）	・施設を廃止したことに伴い、財産区分が普通財産へと切り替わったため、財務課への移管準備を進めた。
	課題	—

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	-
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	9	方向性

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	文化振興事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民	目的	町民の文化・芸術活動を奨励し、活動を通じて町民相互の交流を深め、心豊かである生活ができるよう支援する。				
事業概要	町文化祭、ピアノマラソンコンサート等を開催する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	文化振興事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	309	286	290			
	概算人件費	1,046	968	968			
	トータルコスト	1,355	1,254	1,258	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.23 人		968 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			968 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9	
①	文化祭来場者数（人）	計画値	2,946	2,946	3,900	4,100	4,300	4,500
		実績値		3,634	3,797			
②	ピアノマラソンコンサート参加者数（人）	計画値	76	80	80	80	80	80
		実績値		90	86			

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・事業の開催により町民が文化や芸術に触れる機会の提供に努め、多くの町民の参加や来場につながった。
	課題	・文化や芸術に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
今年度	成果（実績）	・例年の事業運営に加え、文化祭期間に合わせて中学生が制作したスタンドグラスを初めて展示することで、幅広い年代の芸術発表の場とするとともに、町民が文化や芸術に触れる機会をつくり、多くの町民の参加や来場につながった。
	課題	・文化や芸術に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	文化財保護普及啓発事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民、文化財保有者	目的	町の文化財保護推進を図り、歴史や文化財を町民に周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。				
事業概要	学芸員を配置し、文化財保護に関する事務事業を行う。また、町指定文化財の管理運営を補助する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	04	大事業	文化財保護普及啓発事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	236	223	236			
	概算人件費	2,132	2,182	2,182			
	トータルコスト	2,368	2,405	2,418	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.08 人		389 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	1 人		1,793 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,182 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	—	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・町指定文化財の適切な保護のため支援を行った。また、文化財保護普及啓発のため、ラディアンの空いている壁面を活用し、パネル展示を開催した。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
今年度	成果（実績）	・町指定文化財の適切な保護のため支援を行った。また、文化財保護普及啓発のため、ラディアンの空いている壁面を活用し、パネル展示を開催した。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	伝統芸能保存事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民	目的	郷土に伝わる芸能を幅広く町民に知っていただき、その保存と育成を目指す。				
事業概要	民俗芸能のつどいの開催や団体の育成を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	04	大事業	伝統芸能保存事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	423	466	526			
	概算人件費	272	648	648			
	トータルコスト	695	1,114	1,174	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.06 人		270 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	1 人		378 千円			
	その他	人		千円			
	合計			648 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	民俗芸能のつどい観覧者数（人）	計画値	405	590	590	590	590
		実績値	332	590	580		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 文化振興・歴史の継承	3.68	3.03	
2			
3			
全体平均	4.09	2.93	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・4年ぶりに民芸連加盟全団体が参加して民俗芸能のつどいを開催し、多くの来場者があった。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
今年度	成果（実績）	・民俗芸能のつどいを開催し、多くの来場者があった。今年度は50回記念として、町内の神輿保存会を招待し、神輿を舞台上で担いだ。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	埋蔵文化財調査事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民、事業者	目的	埋蔵文化財保護のための各種事務事業を行う。				
事業概要	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為等において、必要に応じて試掘調査を行う。また、県への届出等事務処理を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	04	大事業	埋蔵文化財調査事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	605	460	524			
	概算人件費	458	573	573			
	トータルコスト	1,063	1,033	1,097	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.05 人		195 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	1 人		378 千円			
	その他	人		千円			
	合計			573 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	—	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 文化振興・歴史の継承	3.68	3.03	
2			
3			
全体平均	4.09	2.93	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・埋蔵文化財包蔵地内において適切な開発行為が行われるよう的確な指導、助言を実施した。試掘調査実績は4件であった。
	課題	・埋蔵文化財発掘調査専門職には発掘実績など県が定める基準があるが、それを満たせる者が少なく、後任の雇用に課題がある。
今年度	成果（実績）	・埋蔵文化財包蔵地内において適切な開発行為が行われるよう的確な指導、助言を実施した。試掘調査実績は1件であった。
	課題	・埋蔵文化財発掘調査専門職には発掘実績など県が定める基準があるが、それを満たせる者が少なく、後任の雇用に課題がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	にのみや町民大学推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民		目的	学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。			
事業概要	講座の開設と併せ、生涯学習指導者の養成・育成を行い、町民が主体となった町民大学を開催する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	にのみや町民大学推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	404	413	689		
		概算人件費	1,374	614	614		
		トータルコスト	1,778	1,027	1,303	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R6 概算人件費		正規職員	0.03 人		120 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	0.5 人		494 千円		
		その他	人		千円		
		合計			614 千円		

成果指標			基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	講座の年間募集人数に対する充足率(%)	計画値	100	100	100	100	100	100
		実績値		92	81.4			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・多様な学習講座の企画により、多世代の交流の場となるような講座の開催や参加者同士での継続学習につながった講座もあるなど、生涯学習の推進が図られている。
	課題	・講座を企画・運営する生涯学習ボランティアは、高齢化とともに会員数が減少してきている。また、講座の募集情報の広報についても検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	・全体としては計画値に届いていないが、充足率が100%を超えた講座もあり、多様な学習講座の企画により、多世代の交流の場となるような講座の開催や参加者同士での継続学習につながった講座もあるなど、生涯学習の推進が図られている。
	課題	・講座を企画・運営する生涯学習ボランティアは、高齢化とともに会員数が減少してきている。また、講座申込の充足率が下がったため、講座の内容や参加募集の広報についても検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	図書館資料整備事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	町民、近隣住民	目的	図書資料の整備に努め、情報提供の場をつくり、サービスの向上を図る。				
事業概要	図書館資料の選択・収集・整理を行い、利用に供する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	03	大 事 業	図書館資料整備事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	7,278	7,107	7,168		
		概算人件費	13,745	14,933	14,933		
		トータルコスト	21,023	22,040	22,101	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R 6 概算人件費		正規職員	0.63 人		3,343 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	7.25 人		11,590 千円		
		その他	人		千円		
		合計			14,933 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・定期的な受入と除籍により、資料の鮮度維持に努めた。
	課題	・ラディアン大規模改修工事に向けて、保存すべき資料の整理と除籍作業を進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・定期的な受入れと除籍を行い、資料の鮮度維持に努めた。 ・ラディアン大規模改修工事に向けて、除籍作業を進めた。
	課題	・引き続き、ラディアン大規模改修工事に向けて、蔵書の整理と除籍作業を進める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	社会教育委員経費				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	町民	目的	諸計画の立案、教育委員会からの諮問への答申等、社会教育に関し教育委員会に助言する社会教育委員を置く。				
事業概要	社会教育振興のための会議を開催し、関係事業についての調査研究を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	01	大事業	社会教育委員経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	243	223	296			
	概算人件費	936	894	894			
	トータルコスト	1,179	1,117	1,190	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.19 人		894 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			894 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	計画値						
	実績値						
②	計画値						
	実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・年6回の会議を開催し、社会教育の推進に関する意見交換を行った。あわせて、生涯学習推進計画の素案についても意見をいただき、令和6年3月に策定することができた。
	課題	・ラディアンの大規模改修や図書館のリニューアルなどの計画や各事業の方向性などについて意見交換を行いながら、よりよい社会教育のあり方を検討していく。
今年度	成果（実績）	・年6回の会議を開催し、社会教育の推進に関する協議を行った。
	課題	・ラディアンの大規模改修や図書館のリニューアルなどの計画や各事業の方向性などについて協議しながら、よりよい社会教育のあり方を検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	青少年育成地域活動事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	町民	目的	青少年指導員の指導・助言により、地域青少年の健全育成を図る。				
事業概要	青少年指導員によるジュニアリーダーの養成、広域連携中学生交流洋上体験研修など、青少年の健全育成に資する事業を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	02	大事業	青少年育成地域活動事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	1,136	990	1,238			
	概算人件費	1,061	1,091	1,091			
	トータルコスト	2,197	2,081	2,329	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,091 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,091 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	青少年育成支援事業数	計画値	4	6	6	6	6
		実績値	4	7			
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 青少年の健全育成	3.76	3.06	
2			
3			
全体平均	4.09	2.93	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析	
前年度	<p>成果（実績）：昨年に引き続き青少年によるバンド演奏やダンスの発表会を開催した。今回から運営にも中学生のボランティアに参加してもらうなど、参加体験の場ともなった。</p> <p>課題：感染症の流行に伴い、事業が実施できないまま、委員の改選を迎えたこともあり、委員の知識・技術の向上や、活動支援のあり方についての検討が必要である。</p>
今年度	<p>成果（実績）：昨年に引き続き、日ごろの成果を発表する場として青少年によるダンスの発表会を開催した。今回は司会として中学生のボランティアが参加するなど、参加体験の場ともなった。</p> <p>課題：感染症の流行に伴い、事業が実施できないまま、委員の改選を迎えたこともあり、委員の知識・技術の向上に課題がある。 ・青少年の生活も変化してきており、今後の活動のあり方についての検討が必要である。</p>

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	子ども会活動支援事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	子どもたちの健全育成のため、各種活動を通して、友情・協力・奉仕の精神を培い、心豊かに育つよう、子ども会活動の支援に努める。				
事業概要	子ども会指導者研修会の実施や子ども会活動への事業補助を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	02	大事業	子ども会活動支援事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	1,008	1,073	0		
		概算人件費	54	54	54		
		トータルコスト	1,062	1,127	54	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		R6 概算人件費	正規職員 0.01 人		54 千円		
			再任用職員 人		千円		
			会計年度任用職員 人		千円		
			その他 人		千円		
			合計		54 千円		

成果指標		計画値	実績値	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	子ども会加入率（%）	計画値		61.2	61.2	61.2	61.2	61.2	61.2
		実績値			59.9	56.9			
②		計画値							
		実績値							

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・野外研修「思い出遠足」を開催し、子ども達に自主性や協調性を身に着ける機会を創出した。また、青少年指導員やスポーツ推進委員と協力して事業を運営することで、三団体の連携を図った。
	課題	・子ども会を解散する地区もあり、子ども会のあり方が変わる中で、地域で子どもを育てる観点から他団体と連携した事業を進めるとともに、支援のあり方についても検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・野外研修として、野外炊事をメインとした「にのっこデイキャンプ(6年生対象)」とクイズラリーなどの「野外をあそぼう(全学年対象)」を開催し、子ども達に自主性や協調性を身に着ける機会を創出した。また、青少年指導員やスポーツ推進委員と協力して事業を運営することで、三団体の連携を図った。
	課題	・令和7年度末で子ども会育成会連絡協議会が解散の方向となった。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	意見	今後は廃止に向けて事業を進めていくことになるため、方向性を変更する。		
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	20歳のつどい関係経費				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民	目的	新たに成人した青年たちを祝福し、社会人としての自覚と責任について認識していただき、二宮町民としての意識の高揚に努める。				
事業概要	新成人による実行委員会を組織し、祝賀会の企画運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	02	大事業	20歳のつどい関係経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	108	110	125			
	概算人件費	745	711	711			
	トータルコスト	853	821	836	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.17 人		711 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			711 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 祝賀会式典参加率（%）	計画値	72.1	72.1	73.0	74.0	75.0	76.0
	実績値		70.6	74.0			
②	計画値						
	実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・今年度は20歳を迎えた方の他、親の式典会場への入場も可能とした。
	課題	・親の会場への入場については、定員の都合上1名のみとしており、周知方法などに課題ある。また、会場となっているラディアンの大規模改修に向け、閉館期間中の会場の選定など検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・20歳を迎えた方の他、昨年度同様、親の式典会場への入場も可能とした。 ・ラディアンの大規模改修に伴う閉館期間中の代替会場の検討として、今年度の実行委員に意見を求めた。
	課題	・親の会場への入場については、定員の都合上1名のみとしており、周知方法などに課題がある。 ・ラディアンの閉館期間中の会場については引き続き検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	地域学校協働活動推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、学校職員	目的	コミュニティ・スクールの枠組みを活用し、地域学校協働活動の推進を図る。				
事業概要	放課後子ども教室など、学校と連携し、地域の教育力を生かした子どもの健全育成事業を実施。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	地域学校協働活動推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	1,702	1,694	2,353			
	概算人件費	3,011	2,049	2,049			
	トータルコスト	4,713	3,743	4,402	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.38 人		1,555 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.5 人		494 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,049 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	放課後子ども教室の登録率【戦略】 (%)	計画値	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0
		実績値	26.9	41.9	41.1		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・放課後の居場所として、各校12回開催した。また、今年度は初めて、夏休みに3小学校合同で事業を開催した。
	課題	・登録数が伸びている一方で、スペースの確保や暑い時期を避けたことにより実施時期に偏りがでているなど、放課後の居場所のあり方に検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・放課後の居場所として、各校12回開催した。また、参加者の増加に伴い、参加人数に対するスペースが十分に確保できないことから、これまでの二宮小学校と同様に、山西小学校においても偶数学年と奇数学年に分けて開催した。
	課題	・二宮小学校と山西小学校については、スペースの問題から偶数学年と奇数学年に分けて実施している。そのため、一人の児童が参加できる回数に差が生じている。サポーターの負担や予算の確保についても考慮しながら、実施回数について検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	意見	現状、担い手の不足などから事業の拡大は難しく、サポーターのできる範囲で事業を続けることになるため、方向性を変更する。		
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	スポーツ推進委員活動事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民	目的	地域のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。				
事業概要	ユニカールなどのニュースポーツ普及活動や各団体等と連携しながら、町民がスポーツにふれる機会づくりに努める。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	01	大事業	スポーツ推進委員活動事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	536	562	634			
	概算人件費	625	721	721			
	トータルコスト	1,161	1,283	1,355	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.17 人		721 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			721 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	スポーツにふれる機会づくりの創出（回）	計画値	3	3	5	5	5
		実績値	3	3	4		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・3団体（スポーツ推進委員・青少年指導員・子育て連）交流事業やユニカール体験会等を開催し、スポーツにふれる機会づくりの創出に努めた。
	課題	・感染症の流行に伴い、事業が実施できないまま、委員の改選を迎えたこともあり、委員の知識・技術の向上が必要である。事業の実施方法等について、検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・3団体（スポーツ推進委員・青少年指導員・子育て連）交流事業やユニカール体験会等を開催するなど、スポーツにふれる機会を創出し、委員の知識・技術の向上を図るため研修会を実施した。
	課題	・スポーツ振興や健康増進等を図るため、スポーツにふれる機会を創出していく必要がある。 ・地区推薦となっているスポーツ推進委員について、地区の負担軽減及び活動実態に見合った選出方法を見出す必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	社会体育推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民	目的	社会体育振興のため、各種スポーツ活動の推進を図る。				
事業概要	町スポーツ協会への補助等を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	01	大事業	社会体育推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	925	1,053	1,126			
	概算人件費	726	807	807			
	トータルコスト	1,651	1,860	1,933	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.19 人		807 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			807 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	—	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・スポーツ協会の運営補助金から事業補助金に切り替えるよう、補助要綱の見直しを行った。補助金がどの事業に充当されているか、町と協会の相互で理解ができるようになった。
	課題	・団体育成経費として補助している部分については、不公平という意見もあることから、検討を進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・スポーツフェスティバルの開催、あるいはスポーツ団体における研修事業等が開催されるとともに、町民がスポーツ参加するための受け皿となるよう、所属団体の運営支援が行われるなど、補助金が有効活用されていることを確認した。 また、前年度の課題解消に向けて、団体への補助金額を一律とする内容で補助要綱を改正した。
	課題	・団体育成経費について見直しを図るため、令和7年度4月施行で要綱改正を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	人権教育推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民	目的	人権に対する理解と認識を深められるよう、研修会等を開催する。				
事業概要	人権教育研修会の開催や参考資料の収集を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大 事 業	人権教育推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	42	42	0		
		概算人件費	335	294	0		
		トータルコスト	377	336	0	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		R6 概算人件費	正規職員 0.07 人		294 千円		
			再任用職員 人		千円		
			会計年度任用職員 人		千円		
			その他 人		千円		
			合計		294 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	人権教育研修会参加者数（人）	計画値	25	25	25	25	25
		実績値	122	25	19		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	人権・平和の推進	3.73	3.03
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

Figure 1: Scatter plot of Importance (重要度) vs Satisfaction (満足度). The plot shows four quadrants: 維持分野 (top-left), 重点維持分野 (top-right), 重点改善分野 (bottom-right), and 改善分野 (bottom-left). Measure 1 is plotted at approximately (3.73, 3.03), falling into the 重点維持分野.

分析		
前年度	成果（実績）	・今年度は町立小中学校の人権教育担当者会と合同開催し、教育現場等で役立ててもらおうと教職員と社会教育関係者を対象に、インターネットにおける人権問題について講義とグループワークによる研修会を行った。
	課題	・人権における問題は多岐にわたっており、ニーズを把握しながら、研修会のテーマを選定していく必要がある。
今年度	成果（実績）	・今年度は町立小中学校の人権教育担当者会と合同開催し、教育現場等で役立ててもらおうと教職員と社会教育関係者を対象に、LGBRQについて研修会を行った。
	課題	・人権における問題は多岐にわたっており、ニーズを把握しながら、研修会のテーマを選定していく必要がある。 ・令和7年度は教育委員会として一体的な事業とするため、教育指導課に予算を移管する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持